

入賞

「伝え方」について

岩出第二中学校 1 年 木村 音葉

私はこれまで生きてきた中で大切にしてきたことは相手に対する“伝え方”です。なぜ私が“伝え方”を大切にしているのかというと伝え方によって、相手の気持ちが変わると思うから、もしかすると相手がいやな気持ちになってしまうかもしれないのでより一層“伝え方”を大切にしています。

私が“伝え方”を大切にしようと思ったきっかけは大きくわけて2つあります。

1 つ目は、小学3年生くらいのときにいっしょに帰る約束をしていた子がいるのにもかかわらず、体調が悪くて迎えにきてもらうことになりました。その時私は保健室にいて、心配してくれたいっしょに帰る約束をしていた子が保健室にきてくれました。その時私は心からうれしかったはずなのに「先、帰ってて」とそっけなく言ってしまったのをよく覚えています。その後、帰りの車で「心配して来てくれたのにそっけなかったかな。」「傷つけてしまったかな。」とこうかいしました。だからその時の私は「明日ちゃんと謝ろう」と思い次の日謝ることができました。今であれば「体調が悪いから車で帰るね。約束してたのにごめんね。また帰る。」などといえたのにと今でもとてもこうかしています。その時から、自分が悪いとき相手になるべくいやな気持ちにさせないために“伝え方”を工夫しています。

2 つ目は、SNS 上でのやり取りです。私はふだん、休日などに友達と遊ぶ約束をするときに SNS を通し 約束をすることがあります。やり取りをしているときに実際に感じていることがあります。それは、相手の気持ちを読みとるのが難しいし、自分の気持ちを伝えるのも難しいということです。例えば、遊ぶ日のやり取りをしているときに、私が「〇日でもいい？」と送ったとして、相手が「別にいいよ」と送られてきたときに私だったら「めんどくさくなったかな」「興味がなかったかな」と受け取ってしまいます。でも、相手からしたら「できるだけ相手に合わせよう」という気

持ちの表れなのかもしれません。だから、発信した人からしたらそんなつもりじゃなくても伝え方によって、相手がちがう受け取り方をしてしまうことがあるかもしれません。

また、このような“伝え方”が大事だという考えは社会にとっても重要だと私は考えます。なぜなら、これからの社会で必要とされているものはなにかというのをネットをみていたときに目に入りました。

そこに書かれていたのは、『コミュニケーション能力』が重要視されるということでした。でも、私は良いコミュニケーションをするにあたり、なにが重要なのかははっきりわかりませんでした。そこで私は「もしかしたら“伝え方”が大事なのではないか。」と思いました。なぜなら、良いコミュニケーションをとるには、自分が話を続けるように質問したり、相手を傷つけないような言葉を選んだり“伝え方”を工夫すると良いと思います。これはもちろん相手からの視点でも同じだと思います。だから、“伝え方”を工夫することは社会にとっても重要だと思います。

私はここまで、相手を傷つけたりさせないために、相手に何か伝えるときは考えて言葉にするというのを言ってきました。しかし、人は1日に人とたくさん話すので、相手に伝える一言一言を考えて伝えていたらとてもつかれると思います。だから、私は今から相手を傷つけない言葉を使ったりする習慣をつけるとよいと思います。これは、だれにとっても今からはじめることでいろんな人が良い“伝え方”ができる習慣が身につくと思うし、いろんな人に広まれば、今の社会もこれからの社会も、いろんな人が相手に思いやりの気持ちを持ち、“伝え方”を自然と工夫できる明るい社会になると思います。